

Accuphase

MULTICHANNEL CONTROL CENTER

CX-260

2ch/6chコンバチブル構成 高域の位相特性に優れたカレントフィードバック増幅回路 6系統のラインアンプを完全独立してユニット化 6チャンネル独立したプリセット・ボリューム装備 高音質6運動ボリューム 6ch 4chのダウン・ミックス機能 ロジック・リレーコントロール回路による最短の信号経路 オプション・ボードでデジタル入力可能





ハイエンドのホームシアター・サラウンドを構築 —— 6チャンネル(5.1ch)アナログ音声入・出力端子を装備した、2ch/6ch コンパチブル構成プリアンプ。6系統独立したラインアンプ、6chのプリセット・ボリューム、高音質6連動ボリュームを搭載。ダウン・ミックス機能装備。2チャンネル時は、6系統ラインアンプを『3 平行×2』にする新開発MCS回路を採用。

CX-260/PX-600は、待望のホームシアター用マルチチャンネル・サラウンドに対応、オーディオとビジュアルとの真の融合を目指し完成した本格的セパレート・アンプです。ビジュアルファンが一つ高い次元の高品位サラウンドを楽しめ、そしてオーディオ・ファイルがピュアオーディオと同等のクオリティで映像サラウンドを楽しむことができる製品です。

CX-260/PX-600には、アキュフェーズが長年にわたって蓄積したピュア・オーディオの技術とその感性、音に対するこだわりとノウハウの全てを投入しました。今までのオーディオだけのリビングの中にビジュアルを採り入れ、コンサート・ホールやムービー・シアターで味わう感動リビング・ルームで体験、臨場感溢れるリアルな立体音場空間を再現して、マルチチャンネルによるサラウンド・システムを構築します。ステレオ再生時の生々しい音のひびき、またサラウンド演奏時ではライブ感、雄大な音の拡がり自然なたたずまい、ステレオとサラウンドが両立した新しい音楽・映像の楽しみを発見して、魅力あるハイエンドのホームシアター・ライブを満喫してください。

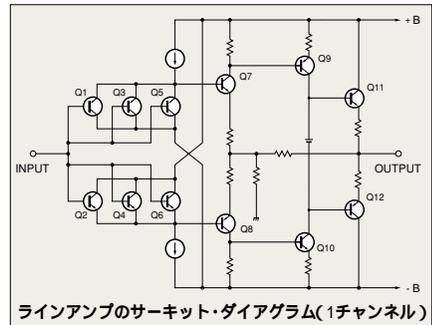
2ch/6chコンパチブル構成のコントロール・センター

従来の2チャンネル(ステレオ)機能に加えて、DVDプレーヤー、デジタル・デコーダーやプロセッサなどの6チャンネル(5.1ch)アナログ音声出力を接続できる機能を備えた2ch/6chコンパチブルのコントロール・センターです。6チャンネルに対応した、LINE1,2の2系統入力端子とアンバランス/バランス各1系統の出力端子、6連動ボリューム、6個のプリセット・ボ

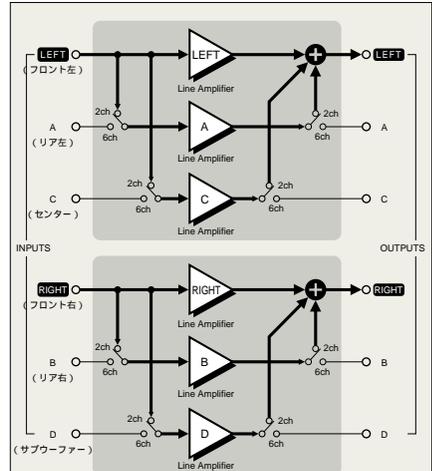
リューム、独立した6系統のラインアンプ回路とバランス出力回路などを装備しています。

音質重視の6系統ディスクリート型ラインアンプ。2チャンネル演奏時は、6系統のライン・アンプを『3 平行×2』接続したMCS回路を搭載

ラインアンプは完全独立の6系統構成。ピュアコンプリメンタリー・プッシュプル回路で、入力素子を3平行にして低雑音化を計り、



ラインアンプのサーキット・ダイアグラム(1チャンネル)

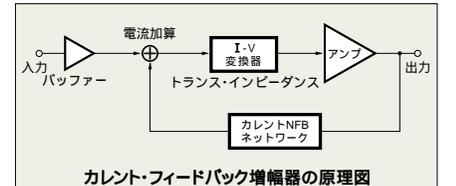


第2図 MCS回路の原理図(2ch動作時のラインアンプ)

ディスクリート・パーツで構成しました。2チャンネル動作時は、第2図のように、6系統のラインアンプ回路を『3 平行×2』とした新開発MCS (Multiple Circuit Summing-up) 回路を採用しました。それぞれのラインアンプ回路を3平行接続として、2系統のラインアンプに集約することにより、SN比、ひずみ率など諸特性が大幅に向上、一段と高性能なステレオプリアンプとなります。

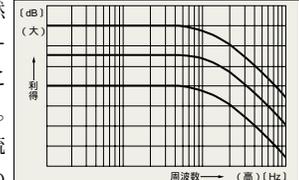
高域の位相特性に優れたカレント・フィードバック増幅回路を採用

増幅回路方式は、出力信号を電流の形で帰還するカレント・フィードバック増幅回路を採用しました。この方式は、帰還入力部分のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生しにくく、その結果位相補償の必要は殆どありません。



カレント・フィードバック増幅器の原理図

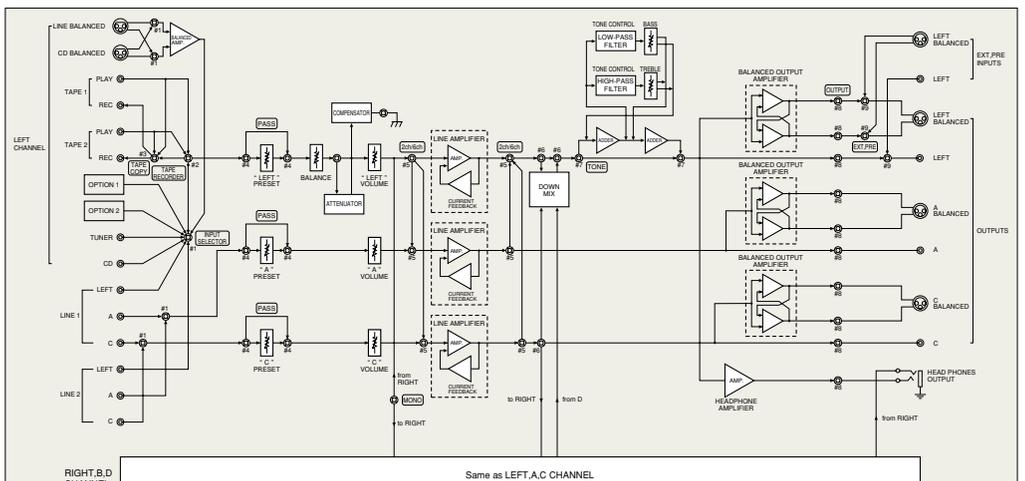
このように、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できるため、立ち上がり等の動特性に優れ、音質面でも自然なエネルギー応答を得ることができます。第3図に電流帰還増幅器の利得を変化させた場合の周波数特性を示します。広い帯域にわたって一定の特性であることが分かります。



第3図 電流帰還型の周波数特性 (利得が変化しても、周波数特性は変化しない)



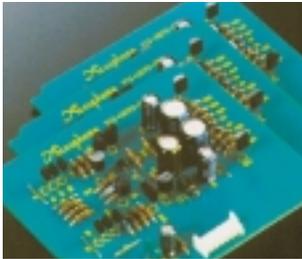
CX-260/PX-600は重ねて使用しないでください。



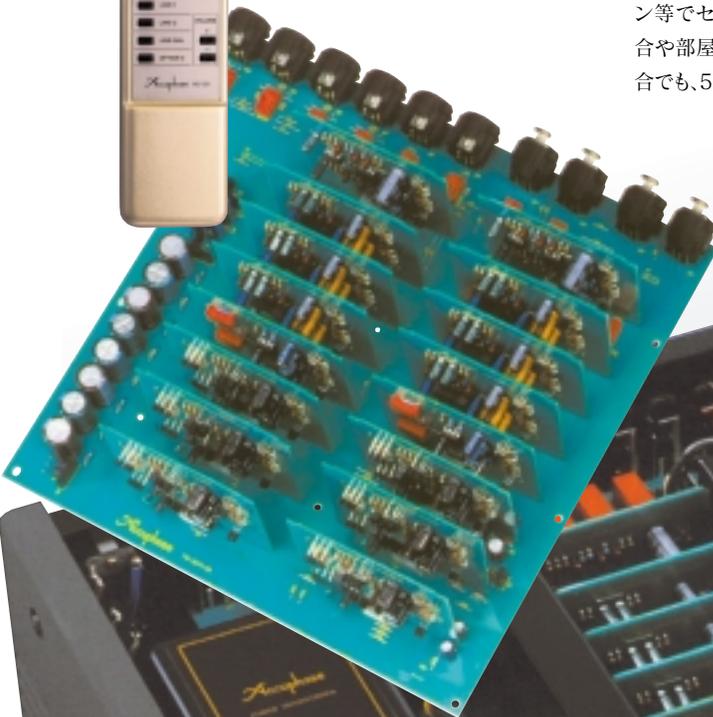
第1図 CX-260のブロック・ダイアグラム

6チャンネルの各増幅回路を完全独立させユニットアンプ化。左右独立電源トランス装備

6チャンネルの各ラインアンプ、バランス出力アンプを完全独立させ、ユニットアンプ化しました。さらにバランス入力アンプ、ダウン・ミックス回路など左右合計16ユニット構成とし、マザーボード上に整然と配置しました。電源回路は、電源トランス、フィルター・コンデンサーとも左右独立し電氣的に完全なモノフォニック構成になっています。全ユニットアンプにそれぞれ独立した広帯域低インピーダン



リモート・コマンダー RC-20
音量調整と入力セレクターの切替可能。

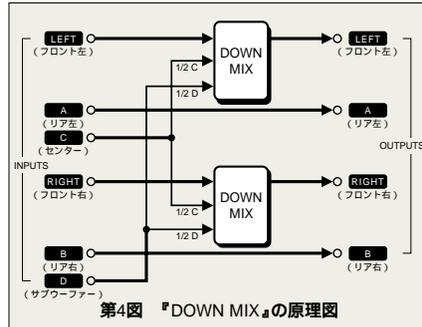


ラインアンプ、ダウン・ミックス、バランス入・出力アンプなど合計16個のユニットアンプがマザー・プリントボード上に整然と配置

ス電源を搭載し、アンプ間の相互干渉を徹底的に防止しています。

6チャンネル・ソースを4チャンネルで演奏するダウン・ミックス機能

6チャンネル(5.1ch)ソースを4チャンネルにダウン・ミックスして演奏するDOWN MIX機能を装備しました。第4図のように、入力した6チャンネル信号の内、センターチャンネル“C”とサブ



第4図 『DOWN MIX』の原理図

ウーファー信号“D”を、フロント側LEFTとRIGHTチャンネルに振り分け、フロント2/リア2の合計4チャンネルの演奏が可能です。スクリーン等でセンター・スピーカーの設置が難しい場合や部屋の関係でサブウーファーを置けない場合でも、5.1chサラウンドを楽しむことができます。

6チャンネルそれぞれにレベル設定可能な、プリセット・ボリュームを装備

6チャンネル信号それぞれに、音量を微調整することができるプリセット・ボリュームを装備しました。

右に回して(最大)	: 0dB
中央(センター・クリック)	: -6dB
左に回して(最小)	: -∞

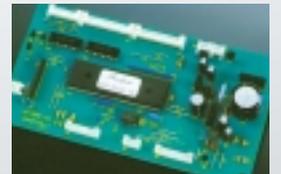
各チャンネルのレベルを調整してプリセットした後、6連マスター・ボリュームが6チャンネル全てのレベルをコントロールします。プリセット・ボリュームをジャンプするPASSボタンも装備しています。2チャンネル動作時は、プリセットボリュームはバイパスされます。

外部プリアンプでステレオ演奏を楽しむ

ビュア・オーディオ専用以外のプリアンプを活用したい場合には、『EXT PRE』ボタン一つで、外部プリアンプでのステレオ演奏を楽しむことが可能です。CX-260の電源OFF時でも同様の動作をします。



金メッキ入・出力端子に直結した、完全密閉構造リレー群



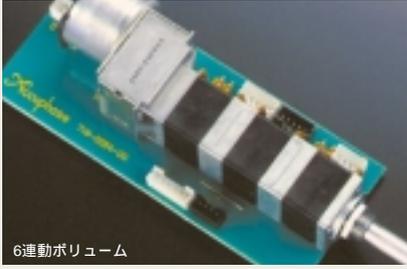
ロジック・コントロール用Assy



高信頼・高音質パーツ群

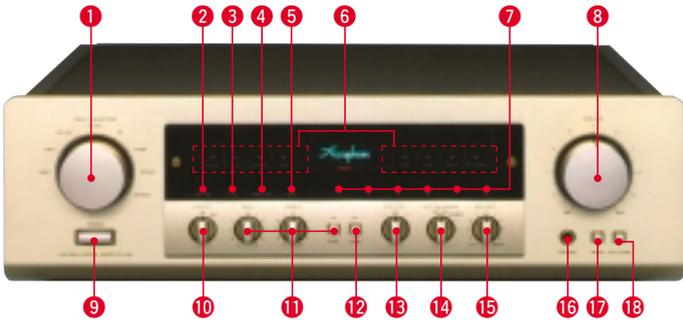
その他の機能・特長

音量および入力ソースを遠隔操作するリモートコマンダーを付属
音質重視の専用ヘッドフォン・アンプ回路を内蔵
音質重視の加算型アクティブ・フィルター方式トーン・コントロール
ブリッジ・フィードバック方式のバランス出力回路
高音質・長期安定性に優れた、ロジック・リレーコントロール信号切替回路
高音質 6連動ボリュームの採用。

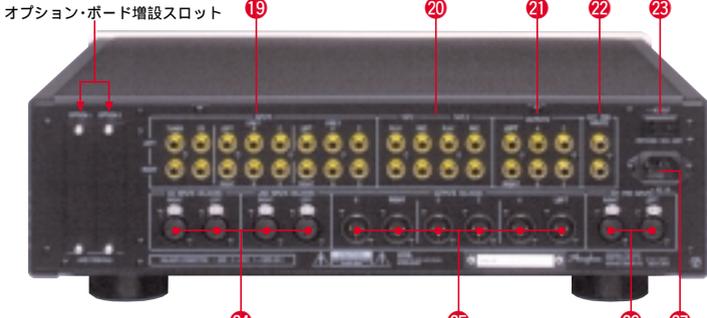


6連動ボリューム

フロントパネル



リアパネル



- 1 入力セレクター
- 2 外部プリアンプ切替ボタン
- 3 2ch/6ch切替ボタン
- 4 ダウンミックスON/OFFボタン
- 5 プリセット・ボリューム・バイパスボタン
- 6 ファンクションLEDインジケーター
- 7 各チャンネルのプリセット・ボリューム
- 8 ボリューム
- 9 電源スイッチ
- 10 出力ON/OFFスイッチ
- 11 低音/高音コントロール、TONE ON/OFFボタン
- 12 コンペンセーターON/OFFボタン
- 13 テープコピー・スイッチ
- 14 テープレコーダー・スイッチ
- 15 バランス調整
- 16 ヘッド・フォン端子
- 17 ステレオ/モノ切替ボタン
- 18 アッテネーター
- 19 ライン入力端子(LINE1,2は6チャンネル入力)
- 20 テープレコーダー録音・再生端子
- 21 アンバランス出力端子(6チャンネル)
- 22 外部プリアンプ入力端子(アンバランス)
- 23 ACアウトレット(電源スイッチに連動)
- 24 CD/LINEバランス入力コネクター
- 25 バランス出力コネクター(6チャンネル)
- 26 外部プリアンプ入力端子(バランス)
- 27 AC電源コネクター

オプション・ボード

3種類のオプション・ボードが用意されています。用途に応じてリアパネルのオプション用スロットに増設してください。

オプション入力はすべて2チャンネル演奏になります。
DAC-10は、E-407、E-406V、E-306V、E-211、C-265には使用できません。
アナログ・ディスク入力ボードAD-9、ライン入力ボードLINE-9も使用できます。



写真のオプション・ボードはDAC-10

デジタル入力ボード DAC-10

MDS[®] マルチプル方式D/Aコンバーターを搭載。同軸、光ファイバーの入力端子を装備。
CD/DVDプレーヤー、DAT、MD等のデジタル音楽信号(サンプリング周波数32kHz~96kHz、24bit)を高音質で演奏。

アナログ・ディスク入力ボード AD-10

高性能ハイゲイン・イコライザーを搭載、アナログレコードを高音質再生。
内部ディップスイッチにより、MM/MC切替、MC入力インピーダンス、サブソニック・フィルターON/OFFを設定。

MM	ゲイン	: 36dB
	入力インピーダンス	: 47k
MC	ゲイン	: 62dB
	入力インピーダンス	: 10/30/100 切替

ライン入力ボード LINE-10

アンバランス方式の一般的なハイレベル入力端子。CDプレーヤー、チューナーなどアナログ信号を再生。

CX-260 保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

周波数特性	BALANCED / UNBALANCED INPUT 3 ~ 300,000Hz +0 -3.0dB 20 ~ 20,000Hz +0 -0.2dB																														
全高調波ひずみ率 (全ての入力端子にて)	0.005%																														
入力感度・ 入力インピーダンス	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">入力端子</th> <th colspan="2">入力感度</th> <th rowspan="2">入力インピーダンス</th> </tr> <tr> <th>定格出力時</th> <th>0.5V出力時</th> </tr> <tr> <td>BALANCED</td> <td>252mV</td> <td>63mV</td> <td>40k</td> </tr> <tr> <td>UNBALANCED</td> <td>252mV</td> <td>63mV</td> <td>10k</td> </tr> </table>	入力端子	入力感度		入力インピーダンス	定格出力時	0.5V出力時	BALANCED	252mV	63mV	40k	UNBALANCED	252mV	63mV	10k																
入力端子	入力感度		入力インピーダンス																												
	定格出力時	0.5V出力時																													
BALANCED	252mV	63mV	40k																												
UNBALANCED	252mV	63mV	10k																												
定格出力・ 出力インピーダンス S/N・入力換算雑音	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">BALANCED / UNBALANCED OUTPUT</th> <th>2V</th> <th>50</th> </tr> <tr> <td colspan="2">TAPE REC</td> <td>252mV</td> <td>200</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">入力端子</th> <th colspan="2">入力シャット IHF-A補正</th> <th rowspan="2">EIA S/N</th> <th rowspan="2">残留ノイズ</th> </tr> <tr> <th>定格出力時S/N</th> <th>入力換算雑音</th> </tr> <tr> <td>BALANCED</td> <td>106dB</td> <td>-118dBV</td> <td>96dB</td> <td>1.2μV</td> </tr> <tr> <td>UNBALANCED(2ch)</td> <td>120dB</td> <td>-132dBV</td> <td>96dB</td> <td>1.2μV</td> </tr> <tr> <td>UNBALANCED(6ch)</td> <td>119dB</td> <td>-131dBV</td> <td>95.5dB</td> <td>1.7μV</td> </tr> </table>	BALANCED / UNBALANCED OUTPUT		2V	50	TAPE REC		252mV	200	入力端子	入力シャット IHF-A補正		EIA S/N	残留ノイズ	定格出力時S/N	入力換算雑音	BALANCED	106dB	-118dBV	96dB	1.2μV	UNBALANCED(2ch)	120dB	-132dBV	96dB	1.2μV	UNBALANCED(6ch)	119dB	-131dBV	95.5dB	1.7μV
BALANCED / UNBALANCED OUTPUT		2V	50																												
TAPE REC		252mV	200																												
入力端子	入力シャット IHF-A補正		EIA S/N	残留ノイズ																											
	定格出力時S/N	入力換算雑音																													
BALANCED	106dB	-118dBV	96dB	1.2μV																											
UNBALANCED(2ch)	120dB	-132dBV	96dB	1.2μV																											
UNBALANCED(6ch)	119dB	-131dBV	95.5dB	1.7μV																											
最大出力レベル (ひずみ率 0.005% 20~20,000Hz)	BALANCED / UNBALANCED OUTPUT : 5.0V TAPE REC : 5.0V																														
最小負荷インピーダンス	BALANCED / UNBALANCED OUTPUT : 600 TAPE REC : 10k																														
ゲイン	BALANCED / UNBALANCED INPUT BALANCED / UNBALANCED OUTPUT : 18dB BALANCED / UNBALANCED INPUT REC OUTPUT : 0dB																														
ラウドネス・コンペンセーター トーン・コントロール	+6dB(100Hz) ターンオーバー周波数および可変範囲 低音 (BASS) : 300Hz ±10dB (50Hz) 高音 (TREBLE) : 3kHz ±10dB (20kHz)																														
アッテネーター	-20dB																														
ヘッドフォン端子	適合インピーダンス 4~100																														
電源	AC100V 50/60Hz																														
消費電力	25W																														
最大外形寸法	幅 475mm × 高さ 150mm × 奥行 405mm																														
質量	17.5kg																														
付属リモート・コマンダー RC-20	リモコン方式 : 赤外線パルス方式 電源 : DC 3V・乾電池 単3形 2個使用 最大外形寸法 : 55mm × 194mm × 18mm 質量 : 100g (電池含む)																														

2チャンネル(ステレオ)演奏

LINE1,2以外の入力は、全て2チャンネル動作です。LINE1,2の場合は、LEFT/RIGHTに入力して、6-CHボタンをOFF(LED消灯)にします。
OPTION1,2に増設したボードからの入力も2チャンネル動作です。
DOWN MIX, PASSの機能は作動しません。
プリセット・ボリュームは全てバイパスされます。

6チャンネル(5.1ch)演奏

入力セレクターでLINE1またはLINE2を選択して、6-CHボタンをON(LED点灯)にします。
次の機能(11~16)は、LEFT/RIGHTチャンネルのみ有効となります。
TONE, COMP, TAPE COPY, TAPE RECORDER
BALANCE, PHONES, MONO, ATT
パワーアンプ内蔵(アクティブ型)サブウーファーを使用する場合は、CX-260のD出力端子とサブウーファーの入力端子をプラグ付オーディオケーブルで直接接続してください。

付属品

- AC電源コード
- プラグ付オーディオケーブル L-10G(1組)
- リモート・コマンダー RC-20



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

本機の特長および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。



ACCUPHASE LABORATORY INC.
アキュフェーズ株式会社
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052
http://www.accuphase.co.jp/